



一歩前に踏み出す力の原点

先日、にじ組さんは親子遠足に行ってきました。コロナウイルス感染拡大防止のために、2年連続中止になっていたのに、にじ組さんにとっては初めての親子遠足となりました。この日は、良いお天気に恵まれ、安佐動物園のきれいな新緑の中で楽しそうに過ごす皆さんの様子を見ていると、とても幸せな気持ちになりました。コロナ感染者数はなかなか減少しませんが、感染対策を講じながら、園行事は大切にしていきたいと強く思った一日でした。5月は参観日と、保護者総会があります。これも2年ぶりとなりますが、人数制限しながら行きますので、ご都合をつけて、ぜひご参加いただきたいと思います。

さて、新学期が始まって1か月が過ぎました。新入園児の保護者の皆様は、お子さんの泣き声や不安な様子に、後ろ髪を引かれる思いでお仕事に向かわれていることでしょうか。小さな赤ちゃんたちも、りす組さんもらいおん組さんも、環境が変わったことを察知して涙が溢れ、食事もとれない様子でしたが、日々の変化を嬉しそうに伝えてくれる職員の表情から、慣れてきてくれているのだなと感じています。

また、乳児園のらいおん組から、幼稚園のあか組に進級した子どもたちも、急に園舎の環境が変わることで、心配に思われることもあったことと思います。あか組さんになって初めての登園時、中には、不安な表情をしたり、涙をうかべる子どももいましたが、友だちの存在を見つけると表情が明るくなり、気持ちを立て直して友だちの方へと、一歩前へ自分で保育室へと踏み出していきました。そんな子どもたちの変化からは、一人ひとりの成長の瞬間が見えて嬉しくなりました。

“いつもと違う、でも、きっと大丈夫”と、子どもたちがそう思いながら、“一歩前に踏み出していく力”は、「あなたのことが大好きだよ」という大人からのメッセージが、子どもに届いていることで生まれます。大好きな人がいるから、その信頼感や安心感を土台としてチャレンジしていくことが出来るのです。

人の一生は、今や80年を超えています。この長い人生を幸せに生きていく鍵は、乳幼児期にあると言われています。この間に、親や身近な大人から受ける愛情が、子どもの人生に大きく関わってくるのです。「大好き」な気持ちは、思っているだけでは伝わりにくいものですから、言葉やスキンシップで伝えていくことが大事です。

さて、キッズノートでもお知らせしていますが、毎朝の“ひのでっこ体操”や、南極から送られてきた氷のことを地球儀で調べるなど、今年度もわくわくすることでスタートしています。これから子どもたちは、園生活の中でたくさんの人と出会い、さまざまなことを学んでいきます。無限の可能性を持った子どもたちの個性や、好きなことを見極めながら、見守ったり、軽く背中を押したりしながら、これからの人生に大切な力を日々の生活の中で育んでいきたいと思っています。それには、楽しいということが原点となります。みみょうの目指す「楽しい保育」はどのようなことなのか、園だよりとにじいろプロジェクトの中で、子どもたちの様子を交えながらお伝えしていきますので、読んでいただくと幸いです。

4月は、新入園児も進級児さんも環境が変わった中で、小さな胸をドキドキさせてよく頑張ってくれました。ゴールデンウィークを挟むと、せっかく慣れていたのに元に戻るのではと不安になられる保護者の方がいらっしゃるかもしれませんが、焦らなくても大丈夫です。お休みの時は子どものペースに合わせてゆっくり過ごしながら、お父さんお母さんの愛で、充電満タンにしてあげてくださいね。

さて、長いお休みに入ります。先日キッズノートで配信した「ゴールデンウィークに向けた感染拡大防止対策への協力をお願い」の文書を確認していただき、ご家族やお子さんに体調の変化があるときは、必ず、医療機関を受診して登園できるかを確認してください。また、PCR検査を受ける時は、園への報告と、結果がわかるまでは登園の自粛をして頂きますようお願いいたします。 園長

にじいろプロジェクト2

年長児になって始まる初めての剣道では、正座で黙想したり、大きな声であいさつしたりする姿がとても立派でした。このように、お友だちと一緒に大丈夫という安心感、そして状況判断して関わる姿は、乳児期の大好きな大人との温かい関わりの中で育まれていくのです。



大好きな大人との関わりから

大好きなお友だちと一緒に取り組む姿への成長

令和4年度の“にじいろプロジェクト”では、学びに向かう主体的な姿や状況判断する力がどのように育つか、また、乳児から幼児への成長の連続性やつながりに着目していきます。

一年を通して、保護者の皆様と一緒に、これからの子どもたちに大切なことを考えていけたらと思っています。

乳児園主任・幼稚園主任